

## じぞうどうにじゅういちぶついたび 「地蔵堂二十一仏板碑」

松伏町指定有形文化財（考古資料）  
平成13年2月22日指定

じぞうどう かみあかいわ 地蔵堂（大字上赤岩）にある てんしょう 天正2年（1574）造立の大型板碑 いたび です。上部を一部欠失しています。21の ぼんじ 梵字が刻まれており、この梵字は一字が一仏を表し、しゅじ 種字と呼ばれます。つまり、21体の諸仏を表現しています。このような板碑の分布は、越谷市を中心とした半径20キロ圏内にほぼ限られていて、地方色の強い板碑といえます。通常の板碑が そとぼ 卒塔婆として造立されるのと異なり、さるまち 庚申信仰によるもので、「申待」と刻まれています。中世期の民間信仰を物語る貴重な史料です。

